

ヨコハマタイヤ東日本リトレッド (株) CSRレポート

事業内容: 更生タイヤの製造、販売
敷地面積: 本社&埼玉事業所: 6,588m²、名古屋事業所: 5,648m²、北海道事業所: 5,508m²
従業員数: 54人 (2013年4月末現在)
事業所: 事業所: 本社・埼玉事業所、名古屋事業所、北海道事業所
所在地: 本社&埼玉事業所: 埼玉県入間郡三芳町北永井395番地
 名古屋事業所: 愛知県みよし市筋生町南山ノ上192番地の2
 北海道事業所: 北海道苫小牧市字植苗162番地の2
相談・苦情などの受付窓口:
 業務部(本社) TEL: 049-258-1461 FAX: 049-258-8065
 メールアドレス: m.horiuchi@room.ocn.ne.jp



社長ご挨拶



鈴木 一朗

ヨコハマタイヤ東日本リトレッドは埼玉、名古屋、北海道の3事業所からなり、創業から41年になります。トラック・バス用タイヤを中心に使用済みのタイヤをリトレッドして、新品と同等の性能、品質の製品をお客さまに提供しております。更生タイヤは、新品タイヤに対してゴム資源の使用量は約30%、製造にかかるCO₂の排出量は約60%の削減となり、まさに環境貢献商品そのものといえます。更生タイヤ全国協議会の統計では国内リトレッドタイヤの2012年出荷量は前年比で103%と増加しており、今後、さらに需要が伸びることが予想されます。お客さまの需要にお応えする商品を供給していくことが、横浜ゴムの方針である「トップレベルの環境貢献企業になる」ことであるととらえ、安全、環境、コンプライアンスをキーワードにして、協力会社の皆さまおよび地域との共生を図りながら生産、販売活動を続けています。



安全健康な職場環境

労働安全衛生

各事業所とも日々の朝礼で通勤を含む日々の業務についての安全第一を確認し、KYT(危険予知トレーニング) 活動を実施しています。作業環境測定、定期健康診断を行うことで従業員全体の労働安全衛生を確実に実施しています。

従業員の教育・訓練

各事業所で年齢(経験) 構成は異なりますが、総じて若い層が多く、安全、環境、品質、設備などの知識経験が浅い従業員が多くいます。各従業員のレベルアップを目的として、技能教育、品質に関する教育を実施し、外部での研修を受けることで必要な法的資格を取得できるようにしています。

災害時の対応

専門業者による消防設備の点検を年2回実施し、点検結果を定期的に地元消防組合へ報告するとともに不具合を改善することで緊急事態発生への対応を図っています。

環境経営の推進

環境マネジメント

2006年4月に取得したISO14001を基本とする環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷の低減に努めています。各事業所で内部監査員を増やすこと、廃棄物削減に取り組むこと、設備の改善によるエネルギーのムダ遣い防止するなど、働くメンバーの環境意識を高めるとともに環境指標の改善を図っています。最終的にタイヤのリユースを増やすことで、循環型社会の発展に貢献したいと考えています。

環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
廃棄物発生量 (t)	854	540	599	623	772
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	1.71	1.68	1.76	1.68	1.74
水使用量 (千m ³)	7.8	10.2	9.3	7.7	5.4



環境経営の推進

化学物質の管理状況 (PRTR法への対応)

横浜ゴムと連動して、各事業所で使用する化学物質のリストアップを進める事でSOC管理を行っています。またPRTRは、対象物質について国と県に届出を行うことで確実な管理を実施しています。

騒音、振動、臭気について

定期的に騒音測定を行い、自主モニターのヒヤリングを通して 騒音、振動、臭気の発生防止に努めています。近隣からの苦情はありません。



製品・サービスの安全と品質

苦情などへの対応

お客さまからの品質に関するお問い合わせについては、ヨコハマタイヤ ジャパン各販売店や、横浜ゴムタイヤ技術サービス部、タイヤ品質保証部と連携し、適切な品質対応をしています。原因究明と対策歯止めを確実に実施するようにしています。



人権・労働慣行

人権教育

児童労働、強制労働はありません。

男女平等の推進

賃金、昇格、配置など 男女の性別による差はありません。



取引先との信頼関係

取引先とのかかわり

更生タイヤの販売、台タイヤ(古タイヤ)の購入、および産業廃棄物の処理など、多くの協力会社と関係がありますが、法的資格を有していることを必ず確認した取引を行っています。産業廃棄物関係では処理業者の監査を実施することで法令順守に努めています。



ステークホルダーコミュニケーション

地域社会とのかかわり

消防組合総会などへ定期的に参加し、地域とのコミュニケーションを図っています。また、地域の花火大会などの地域活動にも協賛しています。



コーポレートガバナンスとコンプライアンス

汚職防止の取り組み

経理、決算を担当する部門は監査役の監査を定期的に受けており、監査による指摘点は改善し、法的な不具合や抜けがないように努めています。